資料１

「投資・財政計画」のローリング（見直し）結果

向こう５年間の収支をシミュレーションした結果、以下の状況が明らか

使用料収入の安定確保	資金の確保	事業継続性の確保
令和２年度の使用料改定 汚水処理件数の増加	一般会計繰入金（基準内） 資本費平準化債の発行	統廃合事業の推進 ストックマネジメントの徹底
∨	∨	∨
使用料収入は 年間約11億円を維持	資金不足の懸念は無い	経営改善（コストの削減）

∨

現行の使用料体系・水準を維持